

日本共産党 和歌山市会議員 ひめだ高志

No.1418
22.12.20

12月例会市議会報告

前回の「今週のフリーのスタ」でA席(ユデオ・アミンスタント・フエリー)と書き置きをくく(ユデオテープレコダー)判定を書き置いたのがおぼろげに訂正します。知らなかったのはサッカーのルーシだけではありませんでした。今後は日本共産党市議団の一般質問(1)として報告します。

マイン保険料の増徴と国民健康保険の廃止を打ち出した国の進め方を批判。

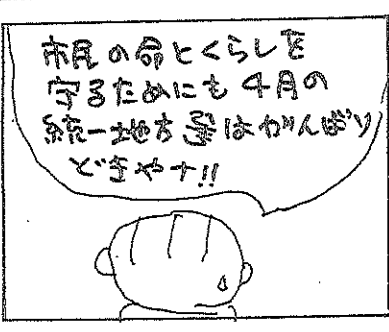
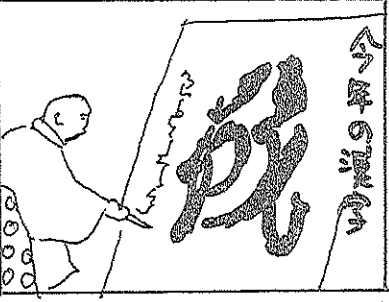
12月6日(土)日本共産党の坂口多美子市議員は、国が進めるマインナンバーと国民健康保険の一体化に(1)一般質問しました。坂口議員はマインナンバーの取得は任意だとしながら健康保険の廃止を打ち出した国の進め方を批判。国からどのような説明が来ているのか、運転免許証や健康保険証と一体化され

統一協会と家庭教師支援協会の関係

12月7日(木)日本共産党の森下ユリ子市議員は「統一協会との関係」について一般質問。森下議員は統一協会の関連団体の行事。統一協会との関係について

たときマイナカードの再発行の際の本人確認はどのようなのか、日数はいくらかかるのかなどの具体的な質問に、これからの話だとしてほぼ答えられません。マイナ保険証が今市内で使えるのは医療35%、歯科26%、養育5%。坂口議員は、マイナ保険証について、市内の医療機関から十分な意見を聞くことを望みました。

フリーのスタ



今週のフリーのスタ

今年の漢字NONO

日本漢字能力検定協会が漢字一文字で今年の世相を表す「今年の漢字」に選ばれたのは22万3000票の応募のうち最多の「方」の4票を集めた「戦」。2位は「母」(1万6000票)、3位は「乗」(1万9000票)。「戦」を選んだ理由として、①ウクライナ侵襲、北朝鮮の相次ぎミサイル発射などに伴う「戦」争、②天安

物の高・電力不足や感染症など、生活の中で起きている身は「戦」い、③サッカーW杯や北京冬季五輪での「戦」い、野球での記録への挑「戦」に関心が集まったことがあげられています。スポーツの「戦」はともかく、あとの2つの「戦」は深刻です。平和と暮らしを守るためにも来年4月の統一地方議会の「戦」に勝つ努力をしようとしても構いません。



ひめだ高志

の家庭教育支援条例が熊本をモデルにしていることから再度、統一協会との関連について市長や教団長の考えを質しました。森下議員

は、統一協会がジレンダー平等に進行し、正体を隠してびびる団体であることから市が利用されないよう注意を促す考えを表明しました。

小中学校給食の無償化を要求

12月8日(木)日本共産党の中村議員は市議は、学校給食について一般質問。中村議員は、小中学校の給食の無償化が全国で25%の自治体にながし、小中学校のみは自治体・市町村のみは

自治体での実施が大半を占める。また中村議員は、青森市が小中学校の給食で給食を無償化。東京都葛飾区や千葉県市川市でも来年度実施予定であると紹介。中村議員は、市議会に

校の観点で市は26)マスの(甲種女校)に中学校給食の無償化の実施を表明しているが、義務教育は無償とする憲法(第26)条第2項の1

コロナ禍の事業者支援

12月8日(木)日本共産党の中村議員は市議は、コロナ禍の事業者支援について一般質問。中村議員は市の事業者支援が新分野展開や業態転換への支援に務

環として給食を無償化するべきだと主張。市長は「多額の財源が必要だが今後、国と連携し、無償化を早期に実現した」と回答。

知事が回答しているが、コロナ対策でいったん凍のいた客員が戻らず、店の家賃の支払いのため副業を掛け持ちしているところがある。水から借り入れの返済が始まることから倒産や廃業が予想されること。コロナ前の家賃が戻るのを見届けます。新たな事業者支援金制度を講じることも考えました。

12月12日(月)日本共産党の南畑さち代市議は、新水道ビジョンについて一般質問。市は新水道ビジョンで、今の総論状況では2年後に赤字が生じ、加納浄水場の更新工事に必要な財源確保(37.5億円)のため水道料の15.7%アップの料金改定が必要と、六十分水管橋の複線化や北部入の新浄水場建設が加わると

6.5億円となり、22.5%アップが必要としています。南畑議員は、送水管の複線化や北部の新浄水場建設について、ペグリックロメントや市の新水道ビジョン検討委員会の内容、加納浄水場の更新時期や新浄水場の廃止問題、水収率向上や送水管の複線化の目標について質問。また市民への資料提供や丁寧な説明と市民負担の軽減に繋がる取り組みを求めました。

井本もろこし



交通政策について質問

交通とは単に移動の手段というだけでなく、文化の発達や、移動の自由という人権にも関わります。市は都市計画で宮前駅や布施屋駅を地域拠点

と位置づけています。この中で、この駅には駅舎やトイレがありません。JRの赤松線対策にもこのことです。

私は12月議会の一般質問でこの点を取り上げましたが、市当局は事業者が設備をこの点に答弁しました。交通は文化などという視点が抜けているし、都市計画でも

一致しません。今後その問題を皆入りの意見を聞きながら取り上げたいと思います。

市は選挙の甲。選挙の甲とならなうが、この



井本もろこし

6.5億円となり、22.5

取り組みを求めました。

